

令和5年度 第3回学校運営協議会報告

1 日 時：令和6年2月13日（火） 午前10時から正午まで

2 場 所：静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校

3 出席者：島田 晴夫 様（元伊東市立中学校教諭）
荻野 耕介 様（伊豆介護センター）
田畑 まどか 様（特定非営利活動法人 絆翔）
栗田 幸治 様（伊豆伊東高等学校PTA会長）
望月 正仁 様（NPO法人伊豆高原BASE）
高村 千夏 様（PTA会長）

学校：長崎（校長）、増井（教頭）

4 内 容 司会、記録（増井）

(1) 校長挨拶

(2) 校内参観

<ご意見>

- （前回もそうだったが）授業を落ち着いて受けていることができている。
- 定時制と交流ができるのは伊豆高原分校だけ。どんな形でもいいので交流できよう。
- プロジェクターの機能が素晴らしい。いろいろ活用できそう。

(3) 学校運営評価

<ご意見>

【育む】

- ICTは教員よりも子供たちのほうがずっと使い慣れているので、上手に活用を。
 - ・パワーポイントでプレゼン
 - ・動画の編集を子どもにさせてみるのも面白い
 - ・先生方もあまり構えず、気軽に使ってみてほしい
 - ・小中では、連絡帳、課題もタブレットに

【つなぐ】

- 今後も中学校への参観、情報収集を続けてほしい。
- いろいろな課題があり、それに対応するために先生方の負担が増しているのではないかと。←SC、主治医など、外部の活用を積極的に行う
- 子どもは「先生方がよく話を聞いてくれる」と言っている、ありがたい。
- 今年度の進路の状況は？←ほぼ見えてきている、企業就労は4人

【高める】

- 遅くまで仕事している教員はいないか←月45時間を超えた教員は延べ4人。
 - ・周りの様子を見ながら、気軽に「帰ろう」と声をかけるのもいいかも
- 一般企業でも欠員のあるところはある。協力して何とか一定のところに負担をかけないようにする

(4) 次年度に向けて

<ご意見>

- 伊豆高原は良い取り組みが多い。保護者にも一般の方にももっと知ってほしい。発信の仕方を工夫してほしい。
- 定時制提案のボードは取組としては面白い。これをきっかけにしてほしい。正面玄関に置いてもっと生徒の目につくようにしたらどうか。
- 情報の共有、協力、「1つのチーム」という意識を